

■発行/ごみ減量対策課 〒192-8501 元本郷町三丁目24番1号 ☎620・7256(直通) FAX626・4506  
 ■ホームページアドレス<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/gomi/index.html>

「臭いもなくなり、ごみ量も減らせました」と仲村さん。



## さらなるご

## み減量

## への取り組み

「生ごみ資源化モデル事業を実施しました」

市民の皆さんのご協力により、ごみの減量と資源化が進んでいます。市では今後さらにごみ減量を進めるため、可燃ごみの約半分を占める生ごみの資源化に取り組んでいきます。

そこで、分別・回収方法や処理方法等を検証するため、昨年9月から11月までの3か月間、「生ごみ資源化モデル事業」を実施しました。モデル事業に参加していただいた北野台の仲村みち江さんにお話を伺いました。

### 「生ごみ」はごみではなく「土に還る大切な資源」ですね… (北野台 仲村 みち江さん)

モデル事業での生ごみ回収は週1回でしたが、水切り袋に入れた生ごみをぎゅっと絞ると、30～40%くらいの水が絞れ、それを抗酸化バケツに保管しておいても臭いは気になりませんでした。

モデル事業に参加することで、絞ることの大切さと1週間分の生ごみの量を把握することができたので、それを活用しようと思いました。モデル事業が終わった後も、生ごみを保管して、自分なりに工夫し、堆肥にして庭の野菜作りに使っています。



▲1週間分の生ごみです。

### もくじ(主な内容)

P2 生ごみ資源化モデル事業参加者アンケート結果

P3 家庭でできる生ごみ減量  
・不法投棄は犯罪です

P4 スプレー缶などが収集車の火災の原因に  
・市民・事業者の皆さんとマイバッグの利用を呼びかけています など

### 【生ごみ資源化モデル事業の概要】

#### 生ごみの排出

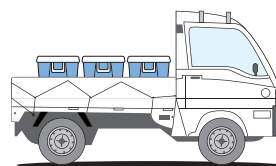
参加世帯に  
抗酸化バケツを貸与



参加世帯  
4地区138世帯

#### 回収

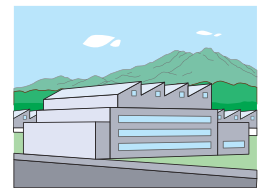
9月～11月(週1回)  
※回収は無料



回収量  
3,457kg

#### 資源化

民間資源化施設(瑞穂町)



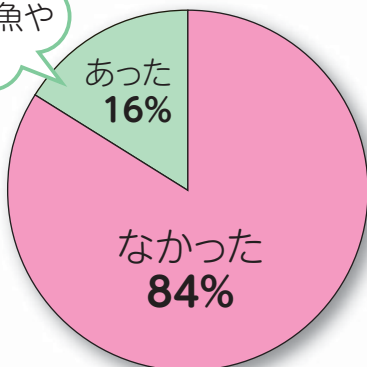
資源化(堆肥化)量  
3,300kg  
水分及び異物157kg

# 生ごみ資源化モデル事業 ~参加者アンケート結果~

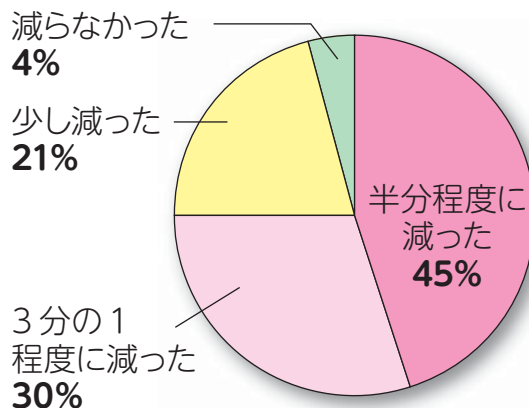
モデル事業に参加していただいた方にアンケート調査を実施しました。ここでは、アンケート内容から一部を抜粋して紹介します。<参加世帯数:138 世帯/回答数:108 世帯(回答率 78.2%)>

## ●資源として回収できる生ごみの分別で迷うことや、苦勞した点はありましたか

臭いが出る魚や肉は出さなかった。など

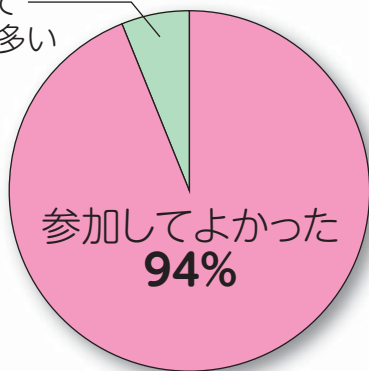


## ●モデル事業期間中は、可燃ごみ専用袋(青袋)の使用量は減りましたか



## ●モデル事業に参加されていかがでしたか

参加して苦勞が多い  
6%



### よかつた方のご意見

- 生ごみを焼却処理ではなく、たい肥にすることに協力できた。
- ごみへの意識が強まった。
- 最初はとまどつたが、1か月ほど過ぎてくると分別が楽しくなつた。
- 自宅で生ごみをたい肥にするきっかけになつた。
- 食品の無駄がでないよう心掛けるようになった。
- 可燃ごみ(青袋)から生ごみがなくなつたことでカラスや猫が来なくなつた。
- 水切りの必要性がよく分かつた。
- 有料袋(青袋)の使用量が減つた。 など



### 苦勞した方のご意見

- 生ごみを分別するのは大変だつた。
- 臭いや虫が気になつた。

## ~24年度も「生ごみ資源化モデル事業」を実施します~

市では、さらなるごみ減量への取り組みとして、24年度もモデル事業を継続します。またアンケートの中で、「モデル事業に再びご協力いただくことはできますか」とお聞きしたところ、90%以上の方から「協力できる」とご回答いただき、市民の皆さんの関心も高い事業であると考えています。

詳細については、広報やホームページ等で随時お知らせしていきますが、興味のある方、ぜひ参加してみたいという方は、ごみ減量対策課(☎620・7256、FAX626・4506)までお問い合わせください。

# 家庭でできる生ごみ減量 ~まずは身近な取り組みから~

## 無駄なものは買わない

買い物に行く前に冷蔵庫の中身や消費期限をチェックし、本当に必要な物だけを買う。安いからといって買い過ぎない。



## 「ひとしぼり」の習慣を

生ごみの約70%以上が水分です。ごみに出す前に「ぎゅっとひとしぼり」。減量効果は絶大です!



### 「ひとしぼり」にはこんな効果も!

- ・生ごみの水分を取り除くことにより、悪臭や腐敗防止に役立ちます。
- ・生ごみの「かさ」が減り、可燃ごみ専用袋の使用量を減らせます。

## エコロジークッキングに挑戦!

環境にやさしく、誰でも気軽に作れるエコロジークッキング。ここでは、残り物をおかずの主役にする八木さんおすすめのレシピを紹介します。



### ☆ひじきと豆腐の蒸し物☆

**〈材料(4人分)〉**  
ひじきの煮物の残り(1人分位)、木綿豆腐1丁、卵半個、片栗粉、めんつゆ

#### ★エコポイント

- 残り物をリメイク
- 牛乳パックの流し箱



#### <作り方>

- ・豆腐はふきんなどに包んで15分ほど水をきる。
- ・水がきれたらボールの中でよく崩し、その中に大さじ1の片栗粉を入れてよく混ぜる。卵、ひじきを入れて混ぜる。
- ・牛乳パックの流し箱に入れ、蒸し器で15分ほど蒸す。
- ・めんつゆを麺のつけ汁位の濃さにし、100ccつくる。これを弱火にかけ、小さじ半分ほどの片栗粉を水溶きしてとろみをつける。
- ・蒸し上がった豆腐を盛り分けてとろみの付いた汁をかける。

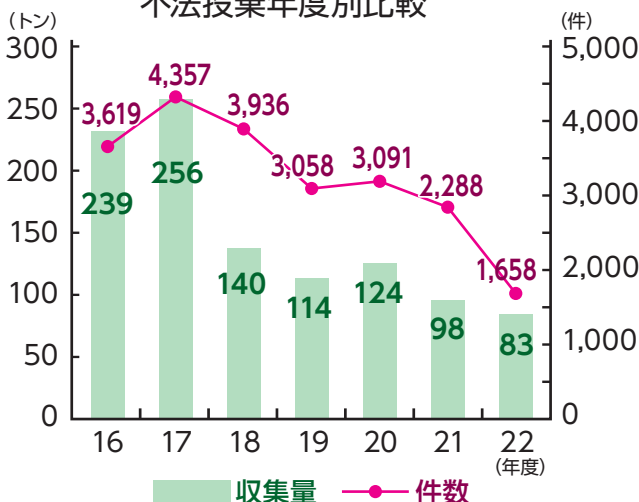
環境カウンセラーの八木雅子さん(写真)は、主婦の目線でレシピを考え、「かんきょう・おさいふ・からだ」にやさしいお料理を実践する講座を市民センターなどで開催しています。



今回は6月を予定していますので、興味のある方は、あつたかホール内にあるエコひろば(☎656・3054)までお問い合わせください。

また、我が家の「エコロジークッキング」や「ごみ減量の工夫」などのアイデアがありましたら、ごみ減量対策課(☎620・7256、FAX626・4506)までお寄せください。

## 不法投棄年度別比較



八王子市では平成17年度から、市内の不法投棄多発地区に50台の監視カメラの設置、市職員による夜間及び深夜パトロールの実施、警告看板や小学生が描いたポスターの設置などを行ってきました。

その結果、不法投棄量は大幅に減少したものの、依然として不法投棄の処理件数は年間1,500件を超えています。(グラフ参照)

不法投棄をなくすためには大きな不法投棄を誘発する、小さな不法投棄(ポイ捨て)をなくすことが重要です。「ポイ捨てはマナー違反やモラルの欠如で済まされがちですが、「ポイ捨てはれづきとした不法投棄です。」

次世代を担う子どもたちのためにも大人が手本を示し、一人ひとりの責任ある行動で住みよいきれいなまち八王子をつくりましょう。

## 不法投棄は犯罪です



火元と思われる  
殺虫剤や消臭剤  
などのスプレー缶



▲昨年12月に発生した火災の消火作業の様子

中身が残ったままのスプレー缶やカセットボンベなどが不燃ごみとして出されることが原因で、今年度20件の車両火災が発生。昨年12月には、収集作業員が顔にやけどを負う大事故も起きています。火災を未然に防ぎ、作業員の安全を守るためにも、スプレー缶などを捨てる場合は、必ず中身を使い切ってから不燃ごみとしてお出しください。

また出す際には、スプレー缶などが入っていることを不燃ごみの袋に大きく表示してください。

市民・事業者の皆さんと一緒にマイバッグの利用を呼びかけています

八王子市は10月をマイバッグ利用促進月間として、市民・事業者の皆さんと一緒に取り組みを行っています。23年度は10月2日(日)を中心に商店会や店舗で様々なイベントを実施しました。

当日は、布製のバッグにクレヨンなどで絵や文字を描いて自分のお気に入りのバッグを作成。多くの皆さんに関心を持っていただきました。

また市内10か所のスーパーマーケットの店頭で実施したマイバッグ持参率調査では、平均37.6%という結果が出ています。今後とも市では不要なレジ袋を削減してごみ減量を図るため、市民・事業者の皆さんと一緒に、毎月店頭で啓発活動を実施し、あわせて商店会や店舗にマイバッグの利用を呼びかけるポスターを掲示するなどしてマイバッグ持参運動を推進していきます。



▲マイバッグの利用を呼びかけるポスター

「紙バッグ・発泡トレイ」  
拠点回収の廃止

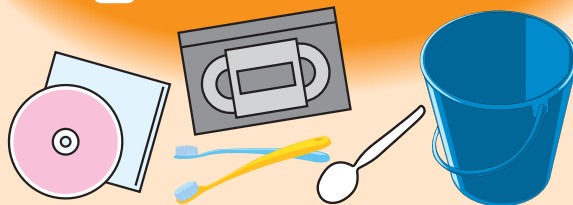
現在市内36か所の公共施設で紙バッグ・発泡トレイの拠点回収を行っています。資源物の戸別回収が定着したことから、これを3月31日で廃止します。

## ごみの分別、間違っていますか？



以下のものは「可燃ごみ」として出していただくようご協力をお願いします。

### プラスチック製の製品 (♻️マークのついていないもの)



CD・ビデオテープ・歯ブラシ・スプーン・バケツなど

### 革製品



革靴・カバン・ベルトなど

### ゴム製品



長靴・ゴム手袋・ホースなど

## エコショップ探訪記



▲規格ごとに分けられた店頭の返却ボックス

生活クラブ生活協同組合  
デポー 八王子みなみ  
(店舗情報)  
所在地:別所1-69-5  
電話:670-3099



今回は、安全・健康・環境をテーマとした生活クラブ生活協同組合のお店を紹介いたします。

このお店では全国の生協団体と連携し、びん再使用ネットワークを形成しています。国産無添加にこだわった牛乳、マヨネーズ、ケチャップ、しょうゆなどを繰り返し使えるリターナブルびんに入れて販売。びんの規格を統することにより効率的なリユースが可能になりました。このネットワークの取り組みで環境大臣賞の最優秀賞を受賞しています。体に優しく環境にも優しいお店を利用して、これからはリサイクルより一歩進んだリユースを。

エコショップの概要については八王子市ホームページ、またはごみ減量対策課(☎620・7256)まで。